

平成23年度 施策達成度評価シート (平成22年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
2	安全な暮らし	23	市民生活を守る安全対策の充実

施策主管部	市民部	評価者(施策統括マネージャー)名	久保 実
-------	-----	------------------	------

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	身近な犯罪や事故等から守られる

2 達成度

(1)成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
人口1万人あたりの交通事故発生件数	件	↓	47.4	54.0	42.4	54.0	54.0
人口1万人あたりの刑法犯発生件数	件	↓	99.2	105.6	86.8	105.6	105.6
消費生活相談の解決率:解決した件数/消費生活相談件数	%	↑	99.60	98.00	98.60	99.00	99.00

(2)近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
人口1万人あたりの交通事故発生件数	青森市 44.3件 秋田市 38.6件 盛岡市 42.4件
人口1万人あたりの刑法犯発生件数	青森市 86.0件 秋田市 81.0件 盛岡市 86.8件
消費生活相談の解決率:解決した件数/消費生活相談件数	青森市 98.5% 秋田市 99.9% 盛岡市 98.6%

3 達成度評価結果

取組内容と成果, 成果を得られた要因	<p>・盛岡市の人口1万人当たりの交通事故件数は42.4件で, 全国と比較して低い状況ではあるが, 近隣自治体と比較して高い状況となっている。高齢者が交通事故被害者や加害者となる割合が年々高まっていることから, 高齢者向けの交通安全教室の開催や, 警察署・自動車教習所と連携し, 高齢者を対象に自動車運転技能講習会を実施するなど交通事故の防止に努めた。</p> <p>・盛岡市の人口1万人あたりの刑法犯発生件数は86.8件で, 全国と比較して低い状況ではあるが, 近隣自治体に比べると高い状況である。防犯活動は地域ごとの日常の取組みが重要であることから, 地域で継続的な活動が出来るよう支援することが求められており, 盛岡市防犯活動推進条例を策定し, 市民, 事業者, 市が連携して, 犯罪の起きにくい地域社会の実現に取り組んでいくこととした。</p> <p>・22年度から盛岡広域圏8市町村で消費者行政の共同実施に取り組み, 相談体制の充実によるきめ細かな対応と消費者教育啓発活動を実施した。その結果, 消費生活相談の解決率は98.6%となり, 前年度より減少したものの目標値としていた98.0%は上回った。</p>
翌年度以降の課題, その要因	<p>・交通安全対策について, 高齢者と子どもが交通事故の被害者となる割合が多い状況が続いていることや, 道路交通法の改正により, 自転車利用者や高齢運転者に対する規定が見直されたことから, 法令順守の徹底と交通安全意識の啓発に取り組む必要性がますます高まってきている。</p> <p>・防犯対策について, 犯罪件数は前年度に比べて減少しているが, 子どもへの声かけ事案などの不審者の情報が後を絶たない状況となっており, 警察, 防犯等の関係団体, 学校, 地域が一体となって防犯意識の高めていく取組みが必要である。</p> <p>・消費生活相談には年々複雑, 多様化した案件が寄せられてくるとともに, 消費者関連法も2~3年で改正されていることから, 専門機関が実施する各種研修に派遣し, 相談員のスキルアップを継続して図ることが必要である。</p>





